

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年6月27日から、原則として無期限です。	
運用方針	高金利通貨マザーファンドの受益証券への投資を通じて、世界の通貨の中から相対的に金利の高い8通貨を選定し、主として当該現地通貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）に分散投資することにより、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。	
主要投資対象	当ファンド	高金利通貨マザーファンドの受益証券を主要投資対象とします。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	当ファンド	マザーファンドの受益証券への投資割合には制限を設けません。
	高金利通貨マザーファンド	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。
分配方針	毎月20日（休業日の場合は翌営業日）に決算を行い、原則として以下の方針に基づき、収益分配を行います。 分配対象収益の範囲は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。繰越分を含めた配当等収益には、マザーファンドの配当等収益のうち、投資信託財産に帰属すべき配当等収益を含むものとします。 分配金額は、委託会社が分配可能額、基準価額水準等を勘案のうえ決定します。	

運用報告書(全体版)

プレミアム・カレンシー・オープン (毎月決算型) (愛称 金利の羅針盤)

第78期(決算日2015年1月20日) 第81期(決算日2015年4月20日)
第79期(決算日2015年2月20日) 第82期(決算日2015年5月20日)
第80期(決算日2015年3月20日) 第83期(決算日2015年6月22日)

受益者の皆様へ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。
皆様の「プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）」は、2015年6月22日に第83期決算を迎えましたので、過去6ヵ月間（第78期～第83期）の運用状況ならびに決算のご報告を申し上げます。
今後とも、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

 **岡三アセットマネジメント**

〒104-0028 東京都中央区八重洲2-8-1

お問い合わせは弊社カスタマーサービス部へ

フリーダイヤル ☎ 0120-048-214（営業日の9:00～17:00）

[ホームページ]

<http://www.okasan-am.jp>

※アクセスにかかる通信料はお客様のご負担となります。
※機種により本サービスをご利用いただけない場合があります。



○最近30期の運用実績

決算期	基準価額			シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス・エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース)		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	(分配落)	税込み 分配金	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率	(参考指数)	期中 騰落率			
	円	円	%	ポイント	%	ポイント	%	%	%	百万円
54期(2013年1月21日)	6,847	30	6.3	348.58	6.6	208.863	7.9	85.1	—	345
55期(2013年2月20日)	7,135	30	4.6	360.35	3.4	218.384	4.6	91.9	—	357
56期(2013年3月21日)	7,198	30	1.3	365.19	1.3	221.139	1.3	88.7	—	312
57期(2013年4月22日)	7,533	30	5.1	386.53	5.8	235.565	6.5	90.4	—	325
58期(2013年5月20日)	7,595	30	1.2	396.62	2.6	243.283	3.3	89.7	—	326
59期(2013年6月20日)	6,773	30	△10.4	368.12	△7.2	210.864	△13.3	90.7	—	291
60期(2013年7月22日)	7,095	30	5.2	383.31	4.1	220.520	4.6	89.0	—	301
61期(2013年8月20日)	6,744	30	△4.5	373.13	△2.7	205.857	△6.6	89.0	—	287
62期(2013年9月20日)	7,125	30	6.1	384.62	3.1	219.542	6.6	89.6	—	295
63期(2013年10月21日)	7,048	30	△0.7	383.40	△0.3	217.865	△0.8	89.5	—	294
64期(2013年11月20日)	7,025	30	0.1	391.65	2.2	216.705	△0.5	90.1	—	294
65期(2013年12月20日)	7,147	30	2.2	407.49	4.0	222.886	2.9	88.7	—	297
66期(2014年1月20日)	7,021	30	△1.3	408.89	0.3	221.607	△0.6	91.6	—	292
67期(2014年2月20日)	6,897	30	△1.3	407.62	△0.3	215.253	△2.9	86.7	—	282
68期(2014年3月20日)	6,947	30	1.2	408.49	0.2	217.254	0.9	86.0	—	282
69期(2014年4月21日)	7,097	30	2.6	414.30	1.4	224.907	3.5	93.8	—	286
70期(2014年5月20日)	7,056	30	△0.2	412.19	△0.5	227.457	1.1	92.6	—	275
71期(2014年6月20日)	7,046	30	0.3	415.31	0.8	229.992	1.1	91.6	—	269
72期(2014年7月22日)	7,026	30	0.1	415.98	0.2	230.674	0.3	93.3	—	265
73期(2014年8月20日)	7,024	30	0.4	421.97	1.4	232.560	0.8	91.3	—	265
74期(2014年9月22日)	7,153	30	2.3	437.89	3.8	241.537	3.9	90.2	—	266
75期(2014年10月20日)	6,913	30	△2.9	431.84	△1.4	235.350	△2.6	93.4	—	256
76期(2014年11月20日)	7,465	30	8.4	471.55	9.2	257.007	9.2	95.3	—	268
77期(2014年12月22日)	7,244	30	△2.6	479.05	1.6	249.639	△2.9	71.3	—	250
78期(2015年1月20日)	7,104	30	△1.5	468.90	△2.1	247.931	△0.7	93.3	—	242
79期(2015年2月20日)	6,952	30	△1.7	467.60	△0.3	248.219	0.1	93.5	—	235
80期(2015年3月20日)	6,755	30	△2.4	465.51	△0.4	241.953	△2.5	93.4	—	225
81期(2015年4月20日)	6,788	30	0.9	464.07	△0.3	245.232	1.4	94.6	—	226
82期(2015年5月20日)	6,878	30	1.8	466.37	0.5	249.700	1.8	89.0	—	223
83期(2015年6月22日)	6,787	30	△0.9	474.43	1.7	248.581	△0.4	87.4	—	217

(注) 基準価額および分配金(税込み)は1万円当たり、基準価額の騰落率は分配金(税込み)込みです。

(注) シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

(注) GBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

(注) シティ世界国債インデックス(除く日本、ヘッジなし・円ベース)、およびGBI-EM(ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット)ブロード・ディバーシファイド指数(円ベース)は、当該日前営業日の現地終値です。両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、債券組入比率は実質比率を記載しております。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

○当作成期間中の基準価額と市況等の推移

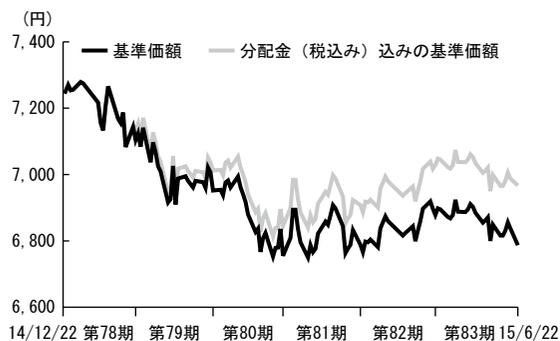
決算期	年 月 日	基準価額		シテイ世界国債 インデックス (除く日本、 ヘッジなし・円ベース)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス-エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバースファイド指数(円ベース)		債券組入 率	債券先物 率
		騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)	騰落率	(参考指数)		
第78期	(期首) 2014年12月22日	円 7,244	% -	ポイント 479.05	% -	ポイント 249.639	% -	% 71.3	% -
	12月末	7,275	0.4	482.55	0.7	251.254	0.6	91.3	-
	(期末) 2015年1月20日	7,134	△1.5	468.90	△2.1	247.931	△0.7	93.3	-
第79期	(期首) 2015年1月20日	7,104	-	468.90	-	247.931	-	93.3	-
	1月末	7,009	△1.3	467.27	△0.3	250.357	1.0	89.6	-
	(期末) 2015年2月20日	6,982	△1.7	467.60	△0.3	248.219	0.1	93.5	-
第80期	(期首) 2015年2月20日	6,952	-	467.60	-	248.219	-	93.5	-
	2月末	6,961	0.1	469.43	0.4	249.012	0.3	92.8	-
	(期末) 2015年3月20日	6,785	△2.4	465.51	△0.4	241.953	△2.5	93.4	-
第81期	(期首) 2015年3月20日	6,755	-	465.51	-	241.953	-	93.4	-
	3月末	6,787	0.5	465.96	0.1	242.449	0.2	93.3	-
	(期末) 2015年4月20日	6,818	0.9	464.07	△0.3	245.232	1.4	94.6	-
第82期	(期首) 2015年4月20日	6,788	-	464.07	-	245.232	-	94.6	-
	4月末	6,874	1.3	467.47	0.7	248.516	1.3	93.4	-
	(期末) 2015年5月20日	6,908	1.8	466.37	0.5	249.700	1.8	89.0	-
第83期	(期首) 2015年5月20日	6,878	-	466.37	-	249.700	-	89.0	-
	5月末	6,888	0.1	477.01	2.3	251.879	0.9	91.4	-
	(期末) 2015年6月22日	6,817	△0.9	474.43	1.7	248.581	△0.4	87.4	-

(注) 期末基準価額は1万円当たり分配金(税込み)込み、騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は当作成期間、7,244円から6,787円となりました。なお、当作成期間において、合計で180円（税込み）の分配金をお支払い致しました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。分配金（税込み）込みの基準価額とは、基準価額（分配前）に第78期以降の分配金（税込み）累計額を加算した価額です。

◎基準価額の変動要因

主要投資対象である「高金利通貨マザーファンド」における主なプラス要因およびマイナス要因は以下の通りです。

（主なプラス要因）

- ・オーストラリア、マレーシア、ニュージーランドの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことが、プラスとなりました。他の投資対象国についても、利回りが上昇したものの、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。

（主なマイナス要因）

- ・投資対象通貨が対円で下落したことが、マイナスとなりました。

◎投資環境（市況）

（債券市場）

投資対象国の債券市場は、国によりまちまちの動きとなりました。利下げを実施したニュージーランドやオーストラリアでは債券利回りが低下しました。一方、利上げを実施したブラジルや政局不安の高まったトルコの債券利回りは上昇しました。

（為替市場）

米国の早期利上げ観測や、ギリシャの資金繰り不安を背景に、高金利国から資金を流出する動きが強まり、投資対象通貨は対円で下落しました。

◎ポートフォリオについて

＜プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）＞

「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入比率を高位で維持しました。

＜高金利通貨マザーファンド＞

（債券組入比率）

当作成期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

（通貨別投資比率）

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当作成期間はメキシコ・ペソの比率を比較的高位としました。

（国別投資比率および年限別投資配分）

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの国債に投資しました。当作成期間におきましては、メキシコ国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

◎参考指数との比較

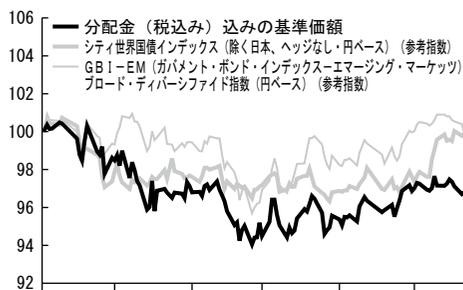
当作成期間における分配金も考慮した当ファンドの基準価額の騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）のいずれに対しても、下回りました。

◎分配金

分配対象収益は、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額としております。当作成期間におきましては、第78期から第83期の各決算期に、それぞれ1万口当たり30円（税込み）、合計180円の収益分配を行いました。

なお、留保益の運用につきましては、運用の基本方針と同一の運用を行ってまいります。

基準価額と参考指数の推移



14/12/22 第78期 第79期 第80期 第81期 第82期 第83期 15/6/22

(注) 分配金（税込み）込みの基準価額は作成期首、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）（参考指数）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）（参考指数）は現地前営業日の終値を100として指数化しております。

(注) 分配金（税込み）込みの基準価額は、基準価額（分配前）に第78期以降の分配金（税込み）累計額を加算しております。

(分配原資の内訳)

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日	2015年2月21日～ 2015年3月20日	2015年3月21日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月20日	2015年5月21日～ 2015年6月22日
当期分配金	30	30	30	30	30	30
(対基準価額比率)	0.421%	0.430%	0.442%	0.440%	0.434%	0.440%
当期の収益	30	27	27	30	30	27
当期の収益以外	—	2	2	—	—	2
翌期繰越分配対象額	606	603	601	602	603	601

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

◎今後の運用方針

（投資環境の見通し）

債券市場につきましては、世界的な需要の回復から商品価格が底堅さを維持し、物価上昇圧力が徐々に強まると見込まれることや、米国の早期利上げ観測の高まりから、利回りが上昇する展開が予想されます。

為替市場につきましては、世界的な金融緩和政策が各国の景気押し上げに寄与すると見込まれることに加え、日本の機関投資家による海外資産投資の拡大や日銀による強力な金融緩和を背景に、投資対象通貨が対円で堅調に推移すると考えます。

（運用方針）

<プレミアム・カレンシー・オープン（毎月決算型）（愛称 金利の羅針盤）>

主要な投資対象である「高金利通貨マザーファンド」の受益証券の組入れを高位に維持して運用する方針です。

<高金利通貨マザーファンド>

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、メキシコ・ペソの比率を徐々に高める方針です。

○ 1 万口当たりの費用明細

（2014年12月23日～2015年6月22日）

項 目	第78期～第83期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
	円	%	
(a) 信 託 報 酬 (投 信 会 社) (販 売 会 社) (受 託 会 社)	35 (16) (17) (2)	0.501 (0.240) (0.240) (0.022)	(a) 信託報酬＝作成期間中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の 情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用 (保 管 費 用) (監 査 費 用)	7 (6) (0)	0.094 (0.087) (0.006)	(b) その他費用＝作成期間中のその他費用÷作成期間中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資 金の送金・資産の移転等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	42	0.595	
作成期間中の平均基準価額は、6,965円です。			

(注) 作成期間中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

（2014年12月23日～2015年6月22日）

○売買及び取引の状況とは、ファンドが購入・売却した有価証券の数量および金額です。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	第 78 期 ～ 第 83 期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
高金利通貨マザーファンド	千口 —	千円 —	千口 22,683	千円 23,700

（注）口数・金額の単位未満は切り捨てです。

○利害関係人との取引状況等

（2014年12月23日～2015年6月22日）

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

（2015年6月22日現在）

親投資信託残高

銘柄	第 77 期 末		第 83 期 末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
高金利通貨マザーファンド	千口 230,332	千円 216,805	千口 207,648	千円 216,805

（注）口数・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

（2015年6月22日現在）

項 目	第 83 期 末	
	評 価 額	比 率
高金利通貨マザーファンド	千円 216,805	% 99.0
コールド・ローン等、その他	2,277	1.0
投資信託財産総額	219,082	100.0

（注）評価額の単位未満は切り捨てです。

（注）高金利通貨マザーファンドにおいて、第83期末における外貨建純資産（326,836千円）の投資信託財産総額（432,845千円）に対する比率は75.5%です。

（注）高金利通貨マザーファンドの外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、第83期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.00円、1ブラジルリアル=39.62円、1トルコリラ=45.57円、1ポーランドズロチ=33.40円、1オーストラリアドル=95.31円、1ニュージーランドドル=84.67円、1マレーシアリンギット=32.87円、1南アフリカランド=10.10円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第78期末	第79期末	第80期末	第81期末	第82期末	第83期末
	2015年1月20日現在	2015年2月20日現在	2015年3月20日現在	2015年4月20日現在	2015年5月20日現在	2015年6月22日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	244,009,581	237,058,426	227,119,796	227,554,998	226,724,654	219,082,979
コール・ローン等	2,716,520	2,751,152	2,477,116	2,610,945	2,678,075	2,277,405
高金利通貨マザーファンド(評価額)	241,293,061	234,307,274	224,642,680	224,944,053	222,546,579	216,805,574
未収入金	—	—	—	—	1,500,000	—
(B) 負債	1,225,619	1,224,681	1,184,972	1,196,673	3,093,362	1,166,552
未払収益分配金	1,025,250	1,017,750	1,003,350	1,000,350	975,450	963,210
未払解約金	—	—	—	—	1,930,120	—
未払信託報酬	197,826	204,305	179,316	193,832	185,409	200,763
その他未払費用	2,543	2,626	2,306	2,491	2,383	2,579
(C) 純資産総額(A-B)	242,783,962	235,833,745	225,934,824	226,358,325	223,631,292	217,916,427
元本	341,750,000	339,250,000	334,450,000	333,450,000	325,150,000	321,070,000
次期繰越損益金	△ 98,966,038	△103,416,255	△108,515,176	△107,091,675	△101,518,708	△103,153,573
(D) 受益権総口数	341,750,000口	339,250,000口	334,450,000口	333,450,000口	325,150,000口	321,070,000口
1万口当たり基準価額(C/D)	7,104円	6,952円	6,755円	6,788円	6,878円	6,787円

(注) 運用報告書作成時点では、監査未了です。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は、第78期0.7104円、第79期0.6952円、第80期0.6755円、第81期0.6788円、第82期0.6787円、第83期0.6787円です。

(注) 純資産総額が元本総額を下回っており、その差額は第78期98,966,038円、第79期103,416,255円、第80期108,515,176円、第81期107,091,675円、第82期101,518,708円、第83期103,153,573円です。

(注) 当ファンドの第78期首元本額は345,750,000円、第78～83期中追加設定元本額は0.0円、第78～83期中一部解約元本額は24,680,000円です。

○損益の状況

項 目	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
	2014年12月23日～ 2015年1月20日	2015年1月21日～ 2015年2月20日	2015年2月21日～ 2015年3月20日	2015年3月21日～ 2015年4月20日	2015年4月21日～ 2015年5月20日	2015年5月21日～ 2015年6月22日
(A) 配当等収益	5	1	5	1	3	2
受取利息	5	1	5	1	3	2
(B) 有価証券売買損益	△ 3,541,225	△ 3,952,001	△ 5,381,921	2,294,828	4,063,133	△ 1,746,099
売買益	16,584	32,596	80,716	2,301,373	4,115,739	8,669
売買損	△ 3,557,809	△ 3,984,597	△ 5,462,637	△ 6,545	△ 52,606	△ 1,754,768
(C) 信託報酬等	△ 200,369	△ 206,931	△ 181,622	△ 196,323	△ 187,792	△ 203,342
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 3,741,589	△ 4,158,931	△ 5,563,538	2,098,506	3,875,344	△ 1,949,439
(E) 前期繰越損益金	△59,019,102	△ 63,316,831	△ 67,519,648	△ 73,864,137	△ 70,947,334	△ 67,189,658
(F) 追加信託差損益金	△35,180,097	△ 34,922,743	△ 34,428,640	△ 34,325,694	△ 33,471,268	△ 33,051,266
(配当等相当額)	(4,461,426)	(4,428,789)	(4,366,128)	(4,353,073)	(4,244,718)	(4,191,454)
(売買損益相当額)	(△39,641,523)	(△ 39,351,532)	(△ 38,794,768)	(△ 38,678,767)	(△ 37,715,986)	(△ 37,242,720)
(G) 計 (D + E + F)	△97,940,788	△102,398,505	△107,511,826	△106,091,325	△100,543,258	△102,190,363
(H) 収益分配金	△ 1,025,250	△ 1,017,750	△ 1,003,350	△ 1,000,350	△ 975,450	△ 963,210
次期繰越損益金 (G + H)	△98,966,038	△103,416,255	△108,515,176	△107,091,675	△101,518,708	△103,153,573
追加信託差損益金	△35,180,097	△ 34,922,743	△ 34,428,640	△ 34,325,694	△ 33,471,268	△ 33,051,266
(配当等相当額)	(4,461,426)	(4,428,789)	(4,366,128)	(4,353,073)	(4,244,718)	(4,191,454)
(売買損益相当額)	(△39,641,523)	(△ 39,351,532)	(△ 38,794,768)	(△ 38,678,767)	(△ 37,715,986)	(△ 37,242,720)
分配準備積立金	16,267,055	16,051,376	15,750,894	15,751,373	15,386,221	15,132,327
繰越損益金	△80,052,996	△ 84,544,888	△ 89,837,430	△ 88,517,354	△ 83,433,661	△ 85,234,634

(注) 損益の状況の中で、(B) 有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(C) 信託報酬等は消費税等相当額、監査費用を含めて表示しております。(F) 追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 収益分配金

決算期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
(a) 配当等収益(費用控除後)	2,462,807円	918,575円	925,184円	1,047,054円	994,999円	898,472円
(b) 有価証券等損益額 (費用控除後、繰越欠損金補填後)	0円	0円	0円	0円	0円	0円
(c) 信託約款に規定する収益調整金	4,461,426円	4,428,789円	4,366,128円	4,353,073円	4,244,718円	4,191,454円
(d) 信託約款に規定する分配準備積立金	14,829,498円	16,150,551円	15,829,060円	15,704,669円	15,366,672円	15,197,065円
分配対象収益(a + b + c + d)	21,753,731円	21,497,915円	21,120,372円	21,104,796円	20,606,389円	20,286,991円
分配対象収益(1万口当たり)	636円	633円	631円	632円	633円	631円
分配金額	1,025,250円	1,017,750円	1,003,350円	1,000,350円	975,450円	963,210円
分配金額(1万口当たり)	30円	30円	30円	30円	30円	30円

用語解説

○資産、負債、元本及び基準価額の状況は、期末における資産、負債、元本及び基準価額の計算過程を表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
資産	ファンドが保有する財産の合計です。
コール・ローン等	金融機関向けの安全性の高い短期貸付運用などの残高です。
各種有価証券等(評価額)	組入れた株式・債券・ファンドなどの評価金額です。
未収入金	入金が予定されている有価証券の売却代金などです。
未取配当金	入金が予定されている株式の配当金等です。
未取利息	入金が予定されているコール・ローン等の利息や債券の利息の合計です。
負債	支払いが予定されている金額の合計です。
未払収益分配金	期末時点で支払いが予定されている収益分配金です。
未払解約金	支払いが予定されている解約金です。
未払信託報酬	支払いが予定されている信託報酬の額です。
その他未払費用	支払いが予定されている監査費用、その他の費用です。
純資産総額(資産－負債)	ファンドが保有する財産の合計から支払いが予定されている金額の合計を差し引いたものです。
元本	ファンド全体の元本残高です。
次期繰越損益金	純資産総額と元本の差額（翌期に繰り越す損益金の合計額）です。
受益権総口数	受益者が保有する受益権口数の合計です。
1(万)口当たり基準価額	1(万)口当たりのファンドの時価です。

用語解説

○損益の状況は、期中にファンドがどのような収益や損失を計上したかを表しています。主な項目の説明は次の通りです。

項目	説明
配当等収益	ファンドが受取った配当金・利息等の合計です。
受取配当金	保有する株式等の配当金等です。
受取利息	債券、コール・ローン等の利息等です。
有価証券売買損益	有価証券の売買損益と期末の評価損益の合計額です。
売買益	売買益と期末評価益の合計です。
売買損	売買損と期末評価損の合計です。
信託報酬等	信託報酬のほか保管費用、監査費用、その他の費用と、それらに掛かる消費税等相当額です。
当期損益金	当期における収支合計です。
前期繰越損益金	前期分の分配準備積立金と繰越損益金の合計額から当期中の解約に対する持分を控除した金額です。
追加信託差損益金	受益者がファンドに払い込んだ金額と元本との差額です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
計	収益分配前の期中の収支の総合計です。
収益分配金	期中の分配可能額から受益者に支払われる分配金です。
次期繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の合計です。
追加信託差損益金	翌期に繰り越す追加信託差損益金です。
(配当等相当額)	配当等に相当する額です。
(売買損益相当額)	売買損益に相当する額です。
分配準備積立金	翌期に繰り越す分配準備積立金の額です。
繰越損益金	翌期に繰り越す損益金の額です。

○分配金のお知らせ

	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
1万口当たり分配金（税込み）	30円	30円	30円	30円	30円	30円
支払開始日	各決算日から起算して5営業日までの間に支払いを開始します。					
お支払場所	取得申込みを取扱った販売会社の本支店					

<お知らせ>

・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。

- ①運用企画部の新設 ②投資調査部を投資情報部に改称 ③運用各部を投資対象資産別に再編 ④トレーディング部を運用本部から分離

高金利通貨マザーファンド

マザーファンドの運用報告書につきましては、ベビーファンドの運用報告書と作成対象期間が異なる場合には、データ・コメント等に不一致が生じることがありますのでご了承ください。

高金利通貨マザーファンド 第7期 運用状況のご報告 決算日：2015年6月22日

「高金利通貨マザーファンド」は、2015年6月22日に第7期の決算を行いましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とし、安定した収益の確保と投資信託財産の成長を目指して運用を行います。
主要投資対象	外貨建ての短期債券等（国債、州債、政府機関債、政府保証債、国際機関債等）を主要投資対象とします。
投資制限	外貨建資産への投資割合には制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額		シティ世界国債インデックス (除く日本、ヘッジなし・円ベース) (参考指数)		GBI-EM(ガバメント・ボンド・ インデックス-エマージング・ マーケット)ブロード・ ディバーシファイド指数(円ベース) (参考指数)		債券組入 比率	債券先物 比率	純資産 総額
	円	騰落率	ポイント	騰落率	ポイント	騰落率			
3期(2011年6月20日)	8,464	4.3	289.25	△ 2.4	172.187	1.5	88.2	—	573
4期(2012年6月20日)	7,759	△ 8.3	290.34	0.4	166.713	△ 3.2	86.4	—	333
5期(2013年6月20日)	9,214	18.8	368.12	26.8	210.864	26.5	91.3	—	296
6期(2014年6月20日)	10,193	10.6	415.31	12.8	229.992	9.1	92.1	—	269
7期(2015年6月22日)	10,441	2.4	474.43	14.2	248.581	8.1	87.8	—	356

(注) 基準価額は1万口当たりです。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、Citigroup Index LLCにより開発、算出および公表されている債券インデックスです。

(注) GBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、J.P.Morgan Securities Inc.が公表している新興国の債券のパフォーマンスを表す指数です。同指数は、J.P.Morgan Securities Inc.が定める条件により選ばれた、政府または政府機関の発行する、新興国の現地通貨建ての債券で構成されている時価総額加重平均指数です。

(注) シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）およびGBI-EM（ガバメント・ボンド・インデックス-エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）は、当該日前営業日の現地終値です。両指数とも参考指数であり、当ファンドのベンチマークではありません。

(注) 債券先物比率は買建比率-売建比率です。

○当期中の基準価額と市況等の推移

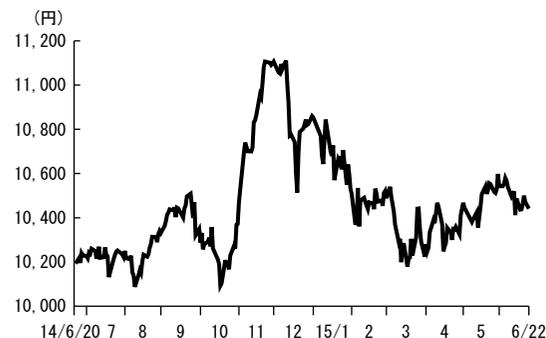
年 月 日	基 準 価 額		シ テ イ 世 界 国 債 イ ン デ ッ ク ス (除 く 日 本 、 ヘ ッ ジ な し ・ 円 ベ ー ス)		G B I - E M (ガ バ メ ン ト ・ ボ ン ド ・ イ ン デ ッ ク ス ・ エ マ ー ジ ン グ ・ マ ー ケ ッ ツ) プ ロ ー ド ・ デ ィ バ ー ジ フ ァ イ ド 指 数 (円 ベ ー ス)		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率
	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)	騰 落 率	(参考指数)		
(期 首) 2014年6月20日	円 10,193	% —	ポ イ ン ト 415.31	% —	ポ イ ン ト 229.992	% —	% 92.1	% —
6月末	10,227	0.3	415.58	0.1	229.905	△ 0.0	93.2	—
7月末	10,250	0.6	419.35	1.0	232.748	1.2	94.0	—
8月末	10,331	1.4	426.42	2.7	234.274	1.9	91.6	—
9月末	10,288	0.9	438.14	5.5	237.332	3.2	91.9	—
10月末	10,471	2.7	438.30	5.5	242.166	5.3	94.3	—
11月末	11,106	9.0	475.71	14.5	259.984	13.0	95.7	—
12月末	10,853	6.5	482.55	16.2	251.254	9.2	91.7	—
2015年1月末	10,508	3.1	467.27	12.5	250.357	8.9	90.2	—
2月末	10,489	2.9	469.43	13.0	249.012	8.3	93.4	—
3月末	10,280	0.9	465.96	12.2	242.449	5.4	93.8	—
4月末	10,468	2.7	467.47	12.6	248.516	8.1	93.8	—
5月末	10,543	3.4	477.01	14.9	251.879	9.5	91.9	—
(期 末) 2015年6月22日	10,441	2.4	474.43	14.2	248.581	8.1	87.8	—

(注) 騰落率は期首比です。

◎基準価額の推移

基準価額は当期間、10,193円から10,441円となりました。

基準価額の推移



(注) 基準価額は1万円当たりです。

◎基準価額の変動要因

(主なプラス要因)

- ・オーストラリア、ニュージーランド、ポーランド、マレーシアの債券利回りが低下し、保有債券の価格が上昇したことが、プラスとなりました。他の投資対象国についても、利回りが上昇したものの、保有債券価格の下落を上回る利息収入を獲得できたことがプラスとなりました。
- ・メキシコ・ペソ、南アフリカ・ランド、マレーシア・リンギットが対円で上昇したことがプラスとなりました。

(主なマイナス要因)

- ・ブラジル・リアル、ニュージーランド・ドル、トルコ・リラが対円で下落したことがマイナスとなりました。

◎投資環境（市況）

(債券市場)

投資対象国の債券市場は、国によりまちまちの動きとなりました。利下げを実施したニュージーランドやオーストラリアでは債券利回りが低下しました。一方、利上げを実施したブラジルや政局不安の高まったトルコの債券利回りは上昇しました。

(為替市場)

日銀の追加金融緩和や年金積立金管理運用独立行政法人（GPIF）による海外投資比率の引き上げを受けて、2014年11月にかけて投資対象通貨が対円で上昇しました。しかしその後は、米国の早期利上げ観測やギリシャの資金繰り不安を背景に、高金利国から資金が流出し、投資対象通貨が対円で下落しました。

◎ポートフォリオについて

(債券組入比率)

当期間を通じて、高位の組入比率を維持しました。

(通貨別投資比率)

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの8カ国の通貨を選定し、相場動向に対応して、それぞれの投資比率を変化させることで、為替変動リスクのコントロールを図りました。当期間はメキシコ・ペソの比率を比較的高位としました。

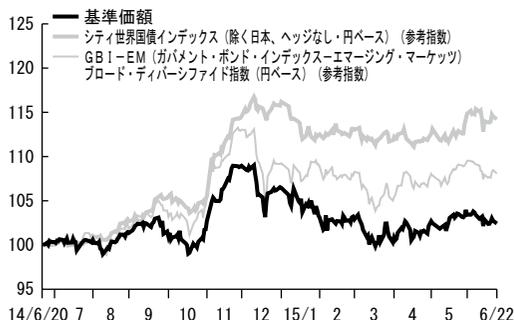
(国別投資比率および年限別投資配分)

ブラジル、メキシコ、南アフリカ、マレーシア、ポーランド、トルコ、オーストラリア、ニュージーランドの国債に投資しました。当期間におきましては、メキシコ国債の比率を比較的高位としました。また、概ね1年以内の年限の債券へ投資を行いました。

◎参考指数との比較

当期間における当ファンドの騰落率は、参考指数としているシティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）のいずれに対しても、下回りました。

基準価額と参考指数の推移



(注) 基準価額は期首を100、シティ世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）（参考指数）、G B I - E M（ガバメント・ボンド・インデックス・エマージング・マーケット）ブロード・ディバーシファイド指数（円ベース）（参考指数）は期首前営業日の現地終値を100として指数化しております。

◎今後の運用方針

（投資環境の見通し）

債券市場につきましては、世界的な需要の回復から商品価格が底堅さを維持し、物価上昇圧力が徐々に強まると見込まれることや、米国の早期利上げ観測の高まりから、利回りが上昇する展開が予想されます。

為替市場につきましては、世界的な金融緩和政策が各国の景気押し上げに寄与すると見込まれることに加え、日本の機関投資家による海外資産投資の拡大や日銀による強力な金融緩和を背景に、投資対象通貨が対円で堅調に推移すると考えます。

（運用方針）

世界の通貨の中から、対象国の金利水準のほか、格付け、為替市場や債券市場の見通し、市場流動性等を総合的に判断し、8カ国の通貨を選定して、投資を行う方針です。また、債券投資については、概ね1年以内の年限の債券に投資する方針です。当面は、外貨比率を高位に保ちつつ、メキシコ・ペソの比率を徐々に高める方針です。

○ 1万口当たりの費用明細

(2014年6月21日～2015年6月22日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用 (保 管 費 用)	24 (23)	0.226 (0.219)	(a) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用 その他は、金融商品取引を行う為の識別番号取得費用
(そ の 他)	(1)	(0.007)	
合 計	24	0.226	
期中の平均基準価額は、10,484円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額において基準価額は円未満切捨て、その他は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○ 売買及び取引の状況

(2014年6月21日～2015年6月22日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ 14,286	千メキシコペソ — (10,000)
	ブラジル	国債証券	千ブラジルリアル 864	千ブラジルリアル — (800)
	トルコ	国債証券	千トルコリラ 1,806	千トルコリラ 400 (1,100)
	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ 1,431	千ポーランドズロチ 510 (900)
	オーストラリア	国債証券	千オーストラリアドル 506	千オーストラリアドル — (400)
	ニュージーランド	国債証券	千ニュージーランドドル 1,058	千ニュージーランドドル 518 (600)
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 805	千マレーシアリングgit — (400)
国	南アフリカ	国債証券	千南アフリカランド 5,229	千南アフリカランド 1,519 (3,000)

(注) 金額は受渡代金です。（経過利子分は含まれておりません。）

(注) 単位未満は切り捨てです。

(注) () 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

○利害関係人との取引状況等

(2014年6月21日～2015年6月22日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○組入資産の明細

(2015年6月22日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期			末				
	額 面 金 額	評 価 額		組 入 比 率	う ち B B 格 以 下 組 入 比 率	残 存 期 間 別 組 入 比 率		
		外 貨 建 金 額	邦 貨 換 算 金 額			5 年 以 上	2 年 以 上	2 年 未 満
メ キ シ コ	千メキシコペソ 7,000	千メキシコペソ 7,184	千円 57,475	% 16.1	% —	% —	% —	% 16.1
ブ ラ ジ ル	千ブラジルレアル 900	千ブラジルレアル 894	35,430	9.9	—	—	—	9.9
ト ル コ	千トルコリラ 600	千トルコリラ 595	27,157	7.6	—	—	—	7.6
ポ ー ラ ン ド	千ポーランドズロチ 800	千ポーランドズロチ 822	27,454	7.7	—	—	—	7.7
オーストラリア	千オーストラリアドル 400	千オーストラリアドル 403	38,456	10.8	—	—	—	10.8
ニュージーランド	千ニュージーランドドル 600	千ニュージーランドドル 644	54,558	15.3	—	—	15.3	—
マ レ ー シ ア	千マレーシアリングギット 800	千マレーシアリングギット 801	26,331	7.4	—	—	—	7.4
南 ア フ リ カ	千南アフリカランド 4,500	千南アフリカランド 4,571	46,172	13.0	—	—	—	13.0
合 計	—	—	313,035	87.8	—	—	15.3	72.5

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、当期末のファンドの純資産総額に対する評価額の比率です。

(注) 額面金額、評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) B B 格以下組入比率は、S & P と Moody's の信用格付けのうち、高い方を採用しています。

(注) —印は組み入れがありません。

高金利通貨マザーファンド

(B) 外国(外貨建) 公社債 銘柄別開示

銘柄	当期					償還年月日
	利率	額面金額	評価額			
			外貨建金額	邦貨換算金額		
メキシコ	%	千メキシコペソ	千メキシコペソ	千円		
国債証券 MEXICAN BONOS 6.25	6.25	7,000	7,184	57,475	2016/6/16	
小計				57,475		
ブラジル		千ブラジルレアル	千ブラジルレアル			
国債証券 BRAZIL NTN-F 10	10.0	900	894	35,430	2017/1/1	
小計				35,430		
トルコ		千トルコリラ	千トルコリラ			
国債証券 TURKEY GOVT BOND 9	9.0	600	595	27,157	2016/1/27	
小計				27,157		
ポーランド		千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ			
国債証券 POLAND GOVT BOND 5	5.0	800	822	27,454	2016/4/25	
小計				27,454		
オーストラリア		千オーストラリアドル	千オーストラリアドル			
国債証券 AUSTRALIAN GOVT. 4.75	4.75	400	403	38,456	2015/10/21	
小計				38,456		
ニュージーランド		千ニュージーランドドル	千ニュージーランドドル			
国債証券 NEW ZEALAND GVT 6	6.0	600	644	54,558	2017/12/15	
小計				54,558		
マレーシア		千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット			
国債証券 MALAYSIA GOVT 3.835	3.835	800	801	26,331	2015/8/12	
小計				26,331		
南アフリカ		千南アフリカランド	千南アフリカランド			
国債証券 REP SOUTH AFRICA 13.5	13.5	4,500	4,571	46,172	2015/9/15	
小計				46,172		
合計				313,035		

(注) 邦貨換算金額は、当期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により、邦貨換算したものです。

(注) 額面金額・評価額の単位未満は切り捨てです。

○投資信託財産の構成

(2015年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公 社 債	千円 313,035	% 72.3
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	119,810	27.7
投 資 信 託 財 産 総 額	432,845	100.0

(注) 評価額の単位未満は切り捨てです。

(注) 当期末における外貨建純資産(326,836千円)の投資信託財産総額(432,845千円)に対する比率は75.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、当期末における邦貨換算レートは1メキシコペソ=8.00円、1ブラジルリアル=39.62円、1トルコリラ=45.57円、1ポーランドズロチ=33.40円、1オーストラリアドル=95.31円、1ニュージーランドドル=84.67円、1マレーシアリングギット=32.87円、1南アフリカランド=10.10円です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	432,845,478
コール・ローン等	117,202,680
公社債(評価額)	313,035,732
未収利息	2,563,245
前払費用	43,821
(B) 負債	76,448,119
未払金	76,448,119
(C) 純資産総額(A-B)	356,397,359
元本	341,336,877
次期繰越損益金	15,060,482
(D) 受益権総口数	341,336,877口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,441円

(注) 当ファンドは監査対象ではありません。

(注) 計算期間末における1口当たり純資産額は1.0441円です。

(注) 当ファンドの期首元本額は264,285,997円、期中追加設定元本額は132,782,476円、期中一部解約元本額は55,731,596円です。

(注) 当ファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額は、プレミアム・カレンシー・オープン(毎月決算型)(愛称 金利の羅針盤)207,648,285円、プレミアム・カレンシー・オープン(1年決算型)133,688,592円です。

○損益の状況 (2014年6月21日～2015年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	20,053,641
受取利息	20,053,641
(B) 有価証券売買損益	△14,925,923
売買益	6,660,952
売買損	△21,586,875
(C) 保管費用等	△ 695,623
(D) 当期損益金(A+B+C)	4,432,095
(E) 前期繰越損益金	5,097,267
(F) 追加信託差損益金	8,417,524
(G) 解約差損益金	△ 2,886,404
(H) 計(D+E+F+G)	15,060,482
次期繰越損益金(H)	15,060,482

(注) 損益の状況の中で、(B)有価証券売買損益は期末の評価替えによるものを含みます。(F)追加信託差損益金とは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。(G)解約差損益金とは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

<お知らせ>

- ・法令諸規則の改正に伴い、投資信託約款に所要の変更を行いました。(実施日:2014年12月1日)
- ・弊社は、資産運用・リスク管理態勢の高度化等への取り組みを一段と強化すべく、2015年4月1日付けで運用部門に関し以下の組織変更を行いました。
 - ①運用企画部の新設
 - ②投資調査部を投資情報部に改称
 - ③運用各部を投資対象資産別に再編
 - ④トレーディング部を運用本部から分離